

シンポジウム | シンポジウム | [シンポジウム6] 診療参加型臨床実習マニュアルを老年歯科医学教育に活かす

シンポジウム6

診療参加型臨床実習マニュアルを老年歯科医学教育に活かす

座長：

小笠原 正（よこすな歯科クリニック）

會田 英紀（北海道医療大学 歯学部 高齢者・有病者歯科学分野）

2023年6月18日(日) 08:20 ～ 09:20 第1会場 (1階 G4)

企画：教育委員会

【小笠原 正先生 略歴】

1983年 松本歯科大学卒業

松本歯科大学障害者歯科学講座助手

1990年 松本歯科大学講師（障害者歯科学講座）

2000年 松本歯科大学助教授

2007年 松本歯科大学教授（特殊診療科、大学院健康増進口腔科学講座）

2019年 広島大学客員教授

2021年12月 松本歯科大学退職

2022年4月 よこすな歯科クリニック（静岡市清水区：障害者のための歯科診療所）

【所属学会】

日本障害者歯科学会（理事長、代議員、専門医指導医、専門医、認定医指導医、認定医）

日本老年歯科医学会（代議員、指導医、認定医、専門医、教育委員会オブザーバー）

日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員、認定士、認定委員会委員）

日本有病者歯科学会（会員）

日本環境感染学会（会員）

日本歯科麻酔学会（会員）

【會田 英紀先生 略歴】

1993年 北海道大学歯学部卒業

1997年 北海道大学大学院歯学研究科修了

1997年 北海道大学歯学部附属病院 第2補綴科 助手

1998年 北海道大学歯学部 歯科補綴学第二講座 助手

2003～2005年、2007～2008年 UCLA Weintraub Center客員研究員

2008年 北海道医療大学歯学部 咬合再建補綴学分野 講師

2010年 北海道医療大学歯学部 咬合再建補綴学分野 准教授

2016年 北海道医療大学歯学部 高齢者・有病者歯科学分野 教授

2016～2018年 北海道医療大学歯学部 歯学教育開発学分野 教授（兼任）

[SY6-1] 「移乗」

○岡田 芳幸^{1,2} (1. 広島大学病院 障害者歯科、2. 広島大学大学院医系科学研究科口腔健康発育歯科 障害者歯科学)

【略歴】

1999年 北海道大学歯学部 卒業

2009年 信州大学大学院医系科学研究科加齢適応医科学 修了

2010年 テキサス大学メディカルセンター循環器科 留学

2010年 テキサスプレスビテリアンホスピタル 研究員

2013年 松本歯科大学障害者歯科学講座 講師

2015 年 松本歯科大学大学院顎口腔機能学分野 准教授

2018 年 広島大学病院障害者歯科 教授

2018 年 広島大学大学院医系科学研究科口腔健康発育歯科 教授

2022 年 広島大学大学院 医系科学研究科 研究科長補佐

【抄録（Abstract）】

「移乗」とは、単なる位置の移動とは異なり、ある目的のために現在身体を留めているものから別のものに移ることを意味します。食事のため、入浴のため、寝るため、そして、治療のためといった多くの場面で必要となる動作です。介護現場における「移乗」は介助者による移乗介助を示しており、上記のような場面でなくてはならない生活の基本になります。そのため、「移乗」の方法を学習することは基本教育とも言えます。ところが、治療や評価に関わる直接手技でないことから、移乗の教育にかかる時間は少なく、学生のモチベーションを高めることにも苦勞する学習課題の一つです。今回、教育委員会が公開した診療参加型臨床実習マニュアルに基づき、広島大学が「楽しく」、「正確な」、「体験型」の実習を目指して取り組んでいる工夫を紹介しながら、皆さんでより良い方法を考えていきたいと思います。